

先日は、12月のてがたんにご参加いただき、ありがとうございました。てがたんの観察記録のレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回のとがたんは、1月11日(土)で、「手賀沼のタカとハヤブサのなかま」がテーマです。ぜひご参加ください。

* 市民スタッフの方へ 次回のとがたん下見は、1月5日(日)の9:30からです。

12月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→香取神社のふもと→水神山古墳のふもと→藤棚→水生植物園
→手賀沼遊歩道→けやき広場
- 観察日時と天気：2019年12月14日(土) 10:00～12:00 晴れ
- 参加人数：34人(大人21人、中学生以下13人)
- 市民スタッフ：7人(石原直子、小泉伸夫、伊東茂子、木村稔、湯瀬一栄、北村章子、伴野茂樹)
- 鳥博友の会ボランティア：2人(古澤紀元、倉重力也)
- 鳥博職員：1人(岩本二郎)

観察した生き物の記録(下見を含む)

【鳥類】カモ科：マガモ、カルガモ、オナガガモ/カイツブリ科：カイツブリ、カンムリカイツブリ/ハト科：キジバト/ウ科：カワウ/サギ科：ダイサギ、コサギ/カモメ科：ユリカモメ/キツツキ科：コゲラ/モズ科：モズ/カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス/シジュウカラ科：シジュウカラ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/ウグイス科：ウグイス/エナガ科：エナガ/メジロ科：メジロ/ムクドリ科：ムクドリ/ヒタキ科：シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ/スズメ科：スズメ/セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ/アトリ科：カワラヒワ/ホオジロ科：ホオジロ、アオジ、オオジュリン/(家禽および外来種)コブハクチョウ、ドバト

【爬虫類】ナミヘビ科：アオダイショウ(幼蛇)

【甲殻類】エビ目：サワガニ/ワラジムシ目：ワラジムシ

【昆虫】チョウ目：ジャコウアゲハ(さなぎ)、モンシロチョウ*、キタテハ、ムラサキシジミ、マダラマルハヒロズコガ(幼虫)、チャミノガ(幼虫)、オオミノガ(幼虫)、マイマイガ(卵塊)、アオイラガ(さなぎ)、タケノホソクロバ(幼虫)* /バッタ目：コバネイナゴ、ツチイナゴ/カマキリ目：オオカマキリ(卵塊)ハラビロカマキリ(卵塊)、チョウセンカマキリ(卵塊)/カメムシ目：ビロコカタカイガラモドキ、ヨコヅナサシガメ*/コウチュウ目：ナナホシテントウ、ヒメアカボシテントウ、カブトムシ(幼虫)*、ヨモギハムシ/ハチ目：ジガバチの仲間(巣)、トックリバチの仲間(巣)、セイヨウミツバチ*/ハエ目：イエバエ、キンバエ、オオクロバエ、ハナアブ類*、ユスリカ

【クモ類】コガネグモ科：ナガコガネグモ(卵囊)、ナカムラオニグモ(幼体)* /ジョロウグモ科：ジョロウグモ/コモリグモ科の一種*

【多足類】ヤスデの一種

【貝類】オナジマイマイ科：ウスカワマイマイ* 【菌類】カワラタケ、コフキサルノコシカケ

【植物(花)】

アブラナ科：ナズナ、タネツケバナ/タデ科：ハナタデ/ナデシコ科：オランダミミナグサ/ツバキ科：サザンカ、チャノキ/オオバコ科：オオイヌノフグリ/シソ科：ホトケノザ/キク科：コセンダングサ、ヒメジョオン、ツワブキ、ハキダメギク、ハハコグサ、セイタカアワダチソウ、オニノゲシ、ノゲシ、セイヨウタンポポ

【植物(果実)】

ユリ科：ホトトギス/ツユクサ科：ヤブミョウガ/バラ科：トキワサンザシ/アサ科：ムクノキ/ブナ科：クリ、シラカシ/スミレ科：スミレ/サクラソウ科：マンリョウ/ツバキ科：カンツバキ/アオキ科：アオキ/アカネ科：ヘクソカズラ/ナス科：アメリカイヌホオズキ/ウコギ科：ヤツデ

(注) *印は12月8日の下見の時にのみ確認した種

12月の観察アルバム

今回のてがたんのテーマは「冬でも虫探し」で、卵・幼虫・さなぎ・成虫などのいろいろな姿で冬を越す昆虫たちを探しました。神社のふもとにあった朽木の中からは、ヒョウタン形のユニークな隠れ蓑を身にまとったマダラヒロズコガの幼虫が出てきました。藤棚ではフジの木の幹に付いたガヤクモの卵囊を見ました。ヨシ原では、ビワコカタカイガラモドキを探し、それを餌にする鳥がヨシから採餌するところも観察することができました。天気にも恵まれ、チョウの成虫が飛ぶ姿を目にすることもできました。



案内人

石原直子さん 小泉伸夫さん



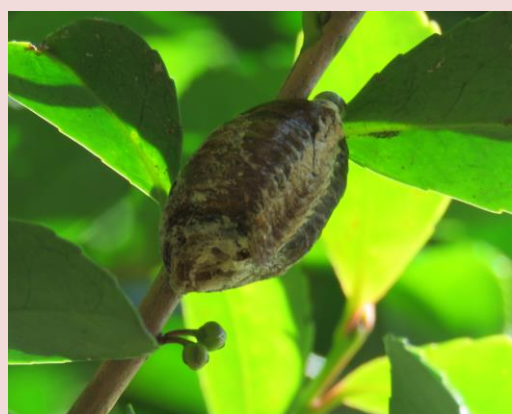
① ヒョウタン型の隠れ蓑を身にまとったマダラマルハヒロズコガの幼虫。



② オオミノガの幼虫。チャミノガとは異なり、ミノに小枝があまり付いていません。



③ 落葉した木では、とまっていたカワラヒワがよく見えました。



④ ハラビロカマキリの卵塊が、葉の間に隠れていました。



歩いたルートと観察した生き物



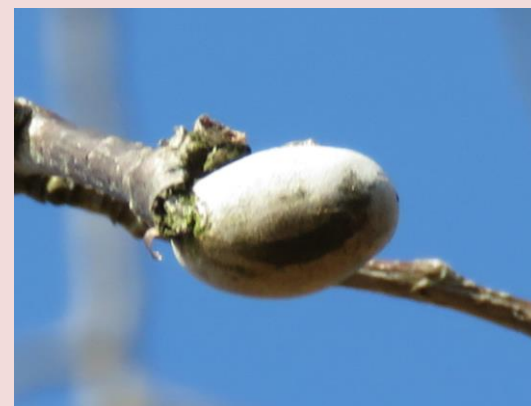
⑤ 成虫で越冬するツチイナゴ。



⑥ ビワコカタカイガラモドキ。ヨシをめくると、すぐに見つけられました。



⑦ ヨシをつついて、その中の昆虫を探すシジュウカラ。

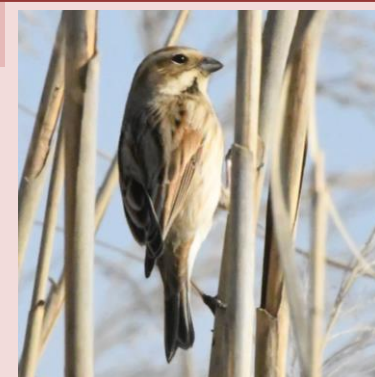


⑧ アオイラガ。このようなまゆの中で、さなぎの状態です。

今月の鳥 オオジュリン

スズメ目ホオジロ科

日本では、主に東北地方以北にある湿原で繁殖し、冬になると、主に本州中部以南へ渡ってきて、ヨシ原で越冬します。同じ科の他の種に比べて嘴が太くてしっかりしており、ヨシの茎を割ったり、表面をむいたりして、中に隠れているカイガラムシなどの昆虫を食べます。繁殖羽ではオスの頭部が黒くなり、北へ帰る直前の3月には、繁殖羽に変わってゆく様子を見ることができます。このときに、頭部の羽毛の根元のほうは既に夏羽の色になっており、羽毛の先端が摩耗することにより新しい色が出てくるという、独特な変わり方をします。



てがたんにご参加ありがとうございました。次回もお待ちしております。